

第 13 表 府 県 別 林 業 概 況

本表は第35次農林省統計表によるものである。

都 道 府 県 名	林野総面積 (昭32. 8. 1) ha	保安林面積 昭34. 3. 31 ha	森林蓄積量 (昭33. 4. 1) m ³	牧 野 面 積 (昭 27) ha	造 林 面 積 (昭 33) ha	樹林地伐採面積 (昭 33) ha	素材生産高 (昭 33) m ³
全 国	24 791 847	2 986 844	1 808 006	1 363 009	503 083	584 726	43 794
北海道	5 569 391	583 711	490 660	376 841	86 969	201 190	7 411
青森	646 358	34 702	58 194	71 739	13 693	17 157	856
岩手	1 164 515	49 938	68 163	198 477	21 039	22 929	1 402
宮城	443 436	45 371	22 670	19 053	9 620	10 408	484
秋田	825 129	85 108	68 955	61 463	13 829	13 987	1 334
山形	661 173	136 291	40 796	27 025	9 859	8 093	472
福島	929 354	77 916	56 684	72 668	15 595	16 149	1 097
茨城	221 759	7 175	13 664	28 220	3 865	4 214	405
栃木	387 439	90 877	28 753	28 066	9 799	8 106	650
群馬	414 497	103 855	32 356	21 098	8 033	10 200	609
千叶	133 993	22 107	10 275	240	2 895	2 597	280
神奈川	165 618	3 007	7 254	2 031	2 696	2 101	364
東京	81 853	10 550	5 517	674	2 058	1 381	120
新潟	104 886	33 433	6 209	702	1 541	1 974	148
富山	787 944	183 343	48 642	6 521	12 837	9 109	609
石川	227 296	107 374	16 284	1 488	3 569	3 046	197
福井	286 032	23 081	16 929	689	4 478	4 532	458
山梨	316 108	79 806	19 777	400	4 430	4 441	393
長野	335 162	142 239	23 296	7 194	4 859	8 055	534
岐阜	997 575	206 195	86 447	43 577	18 377	21 211	1 641
静岡	835 082	163 765	56 412	30 414	16 554	18 689	1 306
愛知	511 487	47 508	42 480	8 136	9 737	9 425	1 341
三重	249 325	22 152	13 819	2 982	4 206	5 081	554
滋賀	373 537	34 964	24 962	1 467	8 759	7 623	853
京都	219 361	44 247	12 450	1 134	4 549	3 398	345
大阪	350 461	33 004	22 427	4 377	6 451	7 199	964
兵庫	66 466	7 107	4 346	-	1 049	1 464	127
奈良	580 448	39 949	26 951	12 150	12 147	5 983	1 025
和歌山	286 996	11 102	37 501	1 219	4 688	4 624	829
鳥取	367 829	31 798	24 703	2 101	9 487	6 098	1 090
徳島	257 135	54 324	16 669	15 878	6 610	5 656	572
高松	512 479	25 634	25 931	34 860	16 195	19 132	975
香取	492 291	101 229	24 834	46 391	11 441	10 415	634
山形	637 350	54 175	40 166	25 450	16 209	13 791	1 580
徳島	422 719	21 362	25 604	13 145	9 528	7 099	1 209
香取	313 785	36 154	27 922	3 105	7 751	5 621	660
高松	94 482	12 343	3 784	2 196	2 690	3 106	119
香取	407 481	61 502	25 682	2 129	12 479	6 695	1 160
高松	562 766	37 744	39 859	7 665	17 052	16 003	1 323
福井	239 312	14 446	12 554	7 646	6 235	6 385	864
佐賀	120 758	7 783	6 435	8 293	4 327	2 574	331
長門	246 738	10 651	13 184	8 427	6 327	4 573	437
熊本	478 058	15 759	33 169	59 456	12 473	7 961	1 658
大分	416 073	24 279	24 133	60 667	20 114	8 021	1 239
宮崎	566 762	34 129	52 042	15 971	13 025	16 085	1 306
鹿不	483 138	13 636	48 472	19 586	12 973	11 244	1 583
鹿不	-	-	-	-	-	-	246

第 7 章
水 産 業

第7章 水産業

(1) 漁業経営体の変動

大阪府における漁業は、瀬戸内海の一小海域に限られた大阪湾（面積1,530km²）で主として行われているが、そのうち漁業上本府の海域とみなされるのは東半の700km²で、海岸線の延長は70kmにすぎない。

本府の海面漁業はこのような狭い水面を漁場としている内海漁業であるが、流入河川が多く、餌料生物に恵まれ、水産物の産卵、生育には好適の海域であってその漁獲高も年間約17,000トンで内海他県に比し生産力が高い。しかしながら反面漁獲強度の増大による乱獲、都市産業の伸展に伴う汚水、埋立等の影響により漁場価値は年々低下し、そのため小規模経営体は逐次転廃業し、漁業経営体は毎年減少していく傾向にある。

なお本府の沿岸市町村は6市6町で沿岸漁業臨時調査（昭和33年11月1日実施）によれば漁業経営体総数は966でこのうち漁家672、個人企業体271、漁協直営1、個人共営22となっている。

(2) 漁船数

昭和33年末現在における漁船隻数は2,168隻で32年に比較して25隻の増加となっている。このうち動力船は1,167隻で32年より2隻の減、無動力船では1,001隻で32年より27隻の増加となっている。

トン数別にみると4,691トンで32年より72トンの減少、動力船では55トン、無動力船では17トンの減少となっている。

(3) 漁獲高および漁労日数

A 魚種別漁獲高

大阪湾は西は明石海峡を経て播磨灘に、南は友が島水道を経て紀伊水道につながっており本府の海域はこの海域の東半分700km²にすぎない。漁場の自然的条件は北部と南部とに区別され、したがって魚種、漁法、漁具等いずれも異っている。

北部漁場は一般に浅く最深部で10～15mに止まり底質は泥のところが多い。また河川の流入のためかん度が低く、さらにこれら河川の影響により栄養塩類に富んでいる。このような条件にある北部漁場では、ボラ、スズキ、シラウオ、コノシロ等の淡かん水魚が多く、アサリ、モガイ、エビ、カニその他内湾性魚類等の幼生時代の絶好の生息場となっている。

また湾口部に近い南部漁場は南へ行くに従って急深となり最深部は50～60mに達するところもあり、底質は泥から

砂泥質に移りし一部に砂礫質のところもあり、かん度も外海に近づくにつれ高く透明度も大きい。

南部漁場は北部に比して外海に近い条件をもち、イカ、タコ、カニ等のほかタイ、ハマチ等の外海性魚類やクロダイ、キス、アコウ等の磯魚も見られ、ワカメ、テングサも多い。

なおカタクチイワシをはじめ多くの回遊性魚類や、エビ、カニ等は夏季に餌料を求めて湾内を回遊しつつ生長するが、冬季は水温が低下するため南部の深所へ移動するので、この間漁業は全般に不振となる。

33年の本府の総漁獲高は16,963トンで32年に比して3,236トンの減少となっている。33年の漁獲についておもな魚種別にみると総漁獲高16,963トンに対して8,777トン51.7%を示している「いわし」が例年と同様最高である。ついで「ざるば」の2,246トン13.2%「エビ」1,382トン8.1%となっている。つぎに総漁獲高16,963トンに対して魚類は11,697トン68.9%を占め貝類の2,723トン16.1%、水産動物類2,500トン14.7%となっており、やはり魚類が全体の70%とその大半を占めている。

B 網別漁獲高

33年の網別漁獲高についてみると「まき網」8,508トンが総漁獲高の50.1%を占め、次いで「底びき網」6,779トン40.1%、「地びき網」395トン2.3%、「採貝」304トン1.8%となっている。

つぎに各網別に32年と比較してみると「底びき網」では32年の6,909トンに対して6,779トンと130トン1.8%の減少、「まき網」では32年の10,710トンに対し8,508トンと2,202トン20.6%の減少、「地びき網」では32年1,134トンに対し395トンと738トン65.1%と大きく減少している。

「まき網」で2,202トンの減少をみたが、これは「いわし」を対象とする北部漁場の「あくり巾着網」が、産業発展による工業廃水により水質の汚濁が激増して不振を呈したとみられる。また、「地びき網」の減少は防潮堤の整備により海岸で網がひけなくなり、特に堺市では32年602トンに対し33年は40トンと562トン93.4%の減少、泉北郡でも32年の259トンに対し101トンと158トン65.2%といちじるしく減少している。

C 網別漁労日数

前述の網別漁獲高に対する漁労日数についてみると総漁労日数は150,634日でこのうち最も多いものは「底びき網」の70,801日、総漁労日数の47%に当り、ついで「つり漁業」は20,305日13.3%があり、「つり漁業」は漁獲高の少ない割に漁労日数が多い。「その他の漁業」は23,245日15.4%、「延縄漁業」9,716日6.5%、「小型定置網」7,685日5.1%となっている。

また各網別漁労日数を32年に比較してみると、32年の総漁労日数169,791日に対し33年は150,634日と19,157日11.3%の減少となっている。

つぎに漁労1日に対する平均漁獲高をみると、まず総漁獲高に対して漁労1日平均漁獲高は33年は113キログラムとなっており、32年と変わらない。

第4表 網別漁獲高(海面)

本表は各漁業協同組合からの月報を集計したものである。

市 郡	総 数	底びき網	まき網	敷網	刺網	小型 定置網	地びき網	釣漁業	延縄漁業	採 貝	その他
昭和29年	19 253 688	6 959 257	10 292 441	28 946	131 876	151 703	1 088 760	107 910	290 708	...	202 087
30	16 083 618	4 538 996	9 306 356	9 390	85 436	201 450	1 009 110	139 579	307 095	...	486 206
31	20 878 241	6 687 033	12 435 037	9 911	120 116	311 493	259 578	132 087	191 693	578 206	153 087
32	20 199 054	6 909 079	10 710 148	6 491	125 258	236 490	1 133 915	160 223	377 022	329 100	211 328
昭和33年	16 963 087	6 778 847	8 507 907	4 388	137 399	257 804	394 836	138 401	202 106	304 056	237 343
大 阪 市	1 262 901	480 353	257 590	4 388	20 234	124 349	-	3 706	128 682	169 782	73 817
堺 市	3 792 719	1 922 695	1 686 142	-	35 831	30 750	39 518	8 663	54 529	12 955	1 636
岸和田市	3 706 044	941 657	2 711 826	-	10 118	-	10 388	-	10 466	-	21 589
泉大津市	746 200	22 613	546 411	-	-	74 822	45 725	-	1 575	55 054	-
貝塚市	607 624	195 992	325 277	-	770	-	78 591	-	4 639	-	2 355
泉佐野市	2 916 104	1 059 238	1 738 882	-	-	-	117 860	124	-	-	-
泉北郡	228 560	45 190	-	-	14 085	-	100 841	3 964	-	64 021	469
泉南郡	3 702 935	2 111 119	1 241 779	-	56 361	27 883	1 913	121 944	2 215	2 244	137 477

(注) 単位：キログラム。 資料 農林省大阪統計調査事務所。

第 8 章

製 造 業

第5表 網別漁労日数(海面)

本表は各漁業協同組合からの月報を集計したものである。

市 郡	総 数	底びき網	まき網	敷網	刺網	小型 定置網	地びき網	釣漁業	延縄漁業	採 貝	その他
昭和29年	190 845	92 893	6 019	6 140	8 760	7 242	5 707	21 525	21 487	...	21 072
30	177 222	72 323	2 942	1 517	7 389	5 217	25 901	24 727	17 201	...	20 005
31	175 504	78 548	2 822	1 192	8 483	9 139	1 281	26 753	14 262	8 926	24 098
32	169 791	71 980	3 100	622	8 085	9 439	1 650	31 463	13 490	6 423	23 539
昭和33年	150 634	70 801	2 564	666	8 150	7 685	1 218	20 035	9 716	6 554	23 245
大 阪 市	41 435	2 460	755	666	2 894	5 153	-	1 146	7 779	5 694	14 888
堺 市	9 438	6 043	376	-	568	98	99	167	1 040	316	731
岸和田市	12 120	9 970	600	-	578	-	50	-	496	-	426
泉大津市	1 123	327	114	-	-	318	80	-	9	275	-
貝塚市	2 034	1 545	73	-	20	-	246	-	138	-	12
泉佐野市	17 688	16 952	380	-	-	-	307	49	-	-	-
泉北郡	838	91	-	-	34	-	426	83	-	190	14
泉南郡	65 958	33 413	266	-	4 056	2 116	10	18 590	254	79	7 174

(注) 単位：日。 資料 農林省大阪統計調査事務所。